

3 「保育士資格を所持していて幼稚園教諭免許状を希望する方の履修希望科目登録用紙（様式8）」記入上の注意

黒インクまたは黒ボールペンを使用し、すべて本人自筆で記入してください。

1年間で8単位取得希望の方は、すべてに○をお付けください。ただし、履修した科目が1年間で取得できないと翌年度も授業料が必要になりますので、ご注意ください。

単位数、合計金額、科目数をご記入ください。

確認のため、保育士証のコピーを同封したうえで、皆様○をお付けください。

現時点での実務経験3年以上かつ4,320時間以上の有無についてお書きください。なお、実務経験に関する証明書の大学への提出は不要ですが、下欄に実務経験をご記入ください。

幼保特例講座による免許状・資格取得に必要な実務経験3年以上かつ4,320時間以上を申請時に満たす見込みの方は、こちらに○を付け、下欄にこれまでの実務経験や今後実務経験を有する見込みの勤務先をご記入ください。なお、現時点で必要な実務経験を満たす見込みのない方（採用などが決まっていない方）は、本幼保特例講座の受講はできません。

実務経験について、勤務先保育園・施設名を記入し、該当する種別に○をお付けください。また、施設ごとの勤務期間と勤務期間中の平均勤務時間などもご記入ください。

本幼保特例講座の科目を修得するために、在籍する予定年数に○をお付けください。なお、入学後に変更しても構いません。

レポートの提出方法について希望する方に○をお付けください。なお、入学後に変更しても構いません。

様式8・科目等履修生のみ

2014年度 履修希望科目登録用紙 兼 実務経験申告書 (保育士資格所持・幼稚園教諭免許状希望) 幼

氏名 福祉 誠子

受付番号 ※

学籍番号 ※ 14TG

※記入しないでください

私は保育士資格を所持し、下記の期間で3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有し（見込を含む）、幼稚園教諭免許状取得を希望しているため、平成26年度に下記に記載した特例科目の履修を希望します。なお、本特例講座を利用して免許状を申請する際に、法令で定められた実務経験を有さないなどの理由により、免許状が取得できなくても大学は責任を負えないことを了解いたします。

【注意】

- 1年間で取得できる予定の科目のみに○をお付けください。入学許可後の履修科目変更はできません。
- 年度途中での追加履修登録も可能です（別途手数料1,000円必要）。
- 履修した科目は4月生の場合は翌年2月末、10月生の場合は翌年8月末までに学習を終えることが必要です（継続は可ですが、あらためて翌年度の授業料必要）。

履修希望科目 ※該当するものに○をつけて、下欄に合計単位数・授業料・科目数を記入してください。

授業科目の名称	履修方法	単位数	授業料	履修希望
教職論	R	2	12,000円	○
教育社会学	R	2	12,000円	○
初等教育課程の意義と編成	R	1	6,000円	○
教育方法論（保育内容研究を含む）	R	2	12,000円	○
幼児理解と保育相談	R	1	6,000円	○
合 計		8 単位	48,000円	5 科目

保育士証のコピー同封確認

私は、保育士資格を所持しており、保育士証のコピーを同封しました。

実務経験（3年間）の有無

出願時に実務経験3年間以上かつ4,320時間以上を有する
 出願時には実務経験3年間以上または4,320時間以上を有さないが、下記の施設で勤務中、または採用見込みで今後有する見込みがある

実務経験を獲得した（またはする見込みの）勤務先

勤務先保育園・施設名	種別	勤務期間	1日あたりの平均勤務時間	1週間あたりの平均勤務日数
○保育園	① 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成19年4月1日～ 昭和・平成20年3月31日	8 時間	5 日
△△保育所	① 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成21年4月1日～ 昭和・平成24年3月31日	6 時間	4 日
□□子ども園	1. 保育所、またはへき地保育所 ② 3 4 5	昭和・平成25年4月1日～ 昭和・平成 年 月 日	8 時間	5 日
	1. 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日
	1. 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日

特例科目の修得予定年数（アンケート）

1年間ですべての科目を修得予定
 2～3年かけて修得予定

レポートのweb提出利用予定（アンケート）

レポートはパソコンを利用して、web上で提出希望です〔p.36（注4）参照〕
 レポートは郵送で提出希望です

実務経験種別
1. 保育所、またはへき地保育所
2. 認定こども園
3. 認可外保育施設（p.36の基準を満たすものに限る）
4. 幼稚園において、もっぱら幼児の保育に従事する職員
5. 幼稚園併設型認可外保育施設（p.36の基準を満たすものに限る）

■特例講座を利用した幼稚園教諭免許状を取得希望の方は、募集要項 p.34～38、129～131. をよくお読みいただいたうえでご出願ください。

現在在職中の場合は、期間の終わりを未記入にしてください。